

【館山市】平成29年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点とし、
目的 『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	詳細事業名	事業概要	H29担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)	
					KPI (重要業績評価指標)	分析結果 (効果・課題)	今後の取組方針	事務局案(【分析結果】【今後の取組方針】)について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・賛成、反対 ・良かった点、課題、改善策など	
1	景観計画策定事業	《景観計画策定事業》 ●景観資源を活かした観光振興に繋げるため、平成29年度～30年度の2か年をかけて、市内全域を対象とした景観計画を策定する	都市計画課	【執行額】 6,804,148円 【補助対象額】 6,804,148円 【交付金充当額】 3,402,074円	《KPI》 観光入込客数 【基準値】(H27) 163万人 【目標値】 178.6万人 【実績値】 196.4万人 【達成率】(実績/目標) 110.0% 《事業の評価》 非常に有効であった	○景観計画策定委員会及び庁内検討委員会を開催した他、市民アンケート調査や景観まちづくりワークショップを実施した。	○30年度中に策定を完了する。 ○景観条例案を作成し、31年6月議会への上程を目指す。	○事務局案に賛成。 ○予定どおり策定を完了してほしい。 ○市民ワークショップを多く開催していることは評価できる。 ○景観をよく見せるには統一感が大事。 ○残っている貴重な松林や、周辺の日本家屋、木造建築をもすべて含めて、「南欧の雰囲気も若干ただよわせる日本の避暑地」を演出してほしい。 ●対象外の地域の雑草がひどい。洲崎線、南房州本線主要道路の除草を。 ●館山駅の公衆トイレの再整備(特に洋式トイレ)が必要。 ●なぜもともと魅力ある南房総の避暑地を、とってつけたような「南欧風」にしなければならなかったのか、大変疑問。 ◆景観にそぐわない色やデザインの商業施設や看板を規制できないのか。	
2	景観形成事業	①《シンボルロード美化事業》 ●植栽管理業務委託 ・館山駅西口広場等 ・鏡ヶ浦通り・北条海岸駐車場	建設課	【執行額】 ①7,344,000円 ②11,068,228円 ③40,935,863円 (合計) 59,348,091円 【補助対象額】 59,348,091円 (補助率:1/2) 【交付金充当額】 29,674,045円	○植栽管理の実施により、多くの観光客が海辺エリアを訪れるきっかけとすることができた。	○引き続き、植栽管理を実施することにより、美化に努めていく。	○事務局案に賛成。 ○バイパスのヤシ並木の保守管理。 ○地元町内会の協力もあり、成果が認められた。 ○明るい館山のイメージが伝わり、大変良い。今後の事業継続のあり方が重要である。 ●冬場の西風対策を講じないと、花が成長しない。また、夏場は水の管理を頻繁にやらないと、枯死してしまう。 ●各種立て看板、捨て看板の問題。		
		②《フラワーライン美化事業》 ●植栽管理業務委託 ・波左間工区 ・坂足工区 ・布沼工区	商工観光課					○引き続き、植栽管理を実施することにより、美化に努めていく。	○事務局案に賛成。
		③《渚の駅たてやま施設改修》 ●「南欧風のまちづくり」にマッチした景観形成のため、“渚の駅”たてやまの外壁・屋根等改修工事に係る設計及び第1期監理業務を委託により実施 ●名誉駅長「さかなクン」のイラストペイント(壁面)による外装工事を実施	みなと課					○外壁等の工事によりリニューアルされ、また、名誉駅長である「さかなクン」のイラストを外壁に装飾することで、他の施設との差別化を図り、「オンリーワン」の施設化が図られた。	○引き続き、収蔵庫棟の外壁・屋根等の改修工事を実施する。 ○建物自体が古いため今後も様々なメンテナンスが必要になってくると想定している。

【館山市】平成29年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点とし、
目的 『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	詳細事業名	事業概要	H29担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
					KPI (重要業績評価指標)	分析結果 (効果・課題)	今後の取組方針	事務局案(【分析結果】【今後の取組方針】)について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・賛成、反対 ・良かった点、課題、改善策など
3	交流拠点施設機能強化事業	<p>《「さかなクングャラリー」物販機能改修》 ●さかなクン愛用品等の展示ケースの購入やカウンター等の改修</p> <p>《VR体験環境整備》 ●VR(仮想現実)を活用して、館山の海の魅力を体験できる環境整備</p> <p>《展望デッキ機能強化》 ●組立式のステージ・音響等の資機材を購入し、展望デッキの機能強化を図る</p> <p>《ウミホテル商品化事業》 ●大学との協働事業としてウミホテルの長期飼育に関する調査研究の実施 ●定期的な観察会に必要な器具の購入</p> <p>《施設PR機能強化》 ●ゲーグルインドアビューの活用による館内情報の外部発信機能強化</p>	みなと課	<p>【執行額】 8,081,165円</p> <p>【補助対象額】 8,081,165円</p> <p>【交付金充当額】 4,040,583円</p>		<p>○“渚の駅”たてやまは、地方創生交付金事業の中で、「海辺エリアの魅力向上」の中核施設として位置づけており、今回の各種ソフト事業を展開することにより、集客施設として魅力ある施設となった。</p> <p>○引き続き、陸路・海路の拠点施設として事業を継続することにより集客施設としての魅力を高め、オンリーワンの施設として事業を進めていく。</p>	<p>○事務局案に賛成。 ○VRを活用するなど、流行もしっかりと取り入れられていて良い。バージョンアップなど、引き続き継続してほしい。 ○拠点施設としての機能充実は今後の課題。 ○VR体験をしたお客様は「館山で、こんな世界最先端の技術が体験できるなんてすごいのに、だれも知らないで通り過ぎていた！」とびっくりしていた。 ○鴨川市の「みんなみの里」は良品計画が運営し、商品の展示や演出の仕方など、田舎の農産物直売所もここまでおしゃれになるか！と感心。 ●より魅力を高め、来訪者が満足する施設にするためには、事業費が少なすぎる。 ●土地が狭いので、館山総合高校水産校舎敷地を含めて考えるとともに、城山公園との一体化した観光拠点を創出すべき。 ●「さかなクングャラリー・ショップ」はあまりにお粗末。商品・展示物自体にも魅力を感じないし、陳列の仕方もひどい。 ●旧安房博物館の建物・展示室はもうちょっと利用方法を考えていただきたい。残念ながら品位が感じられず、訪れるたびに悲しくなる。</p>	

【館山市】平成29年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点とし、
目的 『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	詳細事業名	事業概要	H29担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)		
					KPI (重要業績評価指標)	分析結果 (効果・課題)	今後の取組方針	事務局案(【分析結果】【今後の取組方針】)について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・賛成、反対 ・良かった点、課題、改善策など		
4	海辺の環境改善事業	①《海岸利用者マナー向上対策》 ●「安心・安全な館山の海水浴場の確保に関する条例」の周知及び禁止行為の指導勧告 ●海水浴場のマナー向上のための啓発チラシ及び館山海浜ルールブックの作成・印刷及び啓発看板の製作・設置	商工観光課 みなど課	【執行額】 ①1,256,965円 ②13,793,689円 ③10,281,537円 (合計) 25,332,191円 【補助対象額】 25,332,191円 【交付金充当額】 12,525,327円		○館山市の魅力の一つである海岸線一帯を美しく維持することにより観光振興、地域活性化が図られた。	○マリンスポーツや海水浴の適地とされ、重要な観光資源の一つであるため、本事業により適切に維持管理することにより、来訪者の増加に繋げていく。	○事務局案に賛成。 ○啓発チラシ等の配布は海岸利用者だけでなく、広くPRする方法を検討してもらいたい。 ○海水浴区域とマリンスポーツ区域をはっきり色分けして区別する。 ●一部の人が独占するような利用にならない仕組みやルール作りが必要。また、経済効果を生むような海岸の利用を考えるべき。 ◆マナーが悪い客に対して、条例違反ということでの罰則は設けられないのか。		
		②《海岸美化対策》 ●良好な海岸環境を保つため、通年の海岸清掃に取り組むとともに、効率的・効果的な海岸美化を行うため、清掃機材を購入	商工観光課					○海水浴場において、利用者が素足になっても安心・安全に楽しんでもらえるような海岸環境が保たれた。	○引き続き、海岸清掃活動を実施することで、館山市の魅力を高めていく。	○事務局案に賛成 ○館山青年会議所でも8月12日に北条海岸で「ビーチチャレンジ2018」と題し、海岸清掃をはじめ、海岸での事業を行う。海の環境改善に少しでもお役にたてれば幸い。 ○館山の顔でもある北条海岸、沖ノ島ほかの海岸で、多くの人が安全、快適に海水浴が楽しめるように、今後も継続してほしい。
		③《沖ノ島環境保全事業》 ●環境保全協力金チラシ等の配付、海水浴場仮設トイレ等の借上げ、来訪者の利便性向上のため、進入路の整地及び駐車区画の設置工事 ●自然資源保護に繋げるための案内パンフレットの作成・印刷 ●水洗バイオトイレのメンテナンス委託業務 ●警備業務委託 ●環境保全協力金の受付業務委託	商工観光課					○駐車場が飽和状態となった際には、交通誘導員により状況に応じて車両入場制限を行うことにより、大きな混乱を回避することができた。	○地域外からも多くの来訪がある人気スポットに急成長した反面、駐車場不足やごみの放置などの問題が発生していることから、本事業により来訪者のマナー向上を図っていく。 ○沖ノ島環境保全協力金については、より多くの方に賛同していただけるよう、改善を図る。	○事務局案に賛成。 ○今後もきれいな沖ノ島であり続けるように、今後の取組方針に賛成。 ●協力金の呼びかけに賛成だが、一方で、沖ノ島だけに人気が集まっているようなので、西岬方面に観光客を誘導する方法を検討してほしい。 ●駐車料金としての徴収が無理ならば、車の乗り入れを禁止し、シャトルバスにして徴収する。 ●沖ノ島の環境保全は重要課題であり、協力金を保全対策費として全ての来訪者から徴収すべき。 ●進入路に常設トイレを設置。

【館山市】平成29年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点とし、
目的 『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	詳細事業名	事業概要	H29担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
					KPI (重要業績評価指標)	分析結果 (効果・課題)	今後の取組方針	事務局案(【分析結果】【今後の取組方針】)について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・賛成、反対 ・良かった点、課題、改善策など
5	城山公園機能強化事業	<p>《城山公園利便性向上》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●急勾配な山頂にある館山城（八犬伝博物館）への送迎対策として、『南総里見八犬伝』の錦絵をラッピングした専用のシャトルカーを導入するとともに、ドライバー（非常勤職員）が着用する忍者の衣装を購入 ●城山公園駐車場使用料の収納業務をシルバー人材センターへ委託 <p>《城山公園花のまちづくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民・各種団体・行政協働による「花のまちづくり」の機運醸成に努め、「花のまち館山」のイメージ定着や観光地としての魅力向上を図るため、ガーデニングコンテスト等を開催 ●「フラワーフェスタ2018inたてやま」における会場装飾業務について、本イベントをより魅力的・効果的なものとするため、花の専門業者へ委託 	都市計画課	<p>【執行額】 5,687,686円</p> <p>【補助対象額】 5,687,686円</p> <p>【交付金充当額】 2,843,843円</p>		<p>○シャトルカーの運行について尋ねられるなど、里見八犬伝に関連して城下町の雰囲気を出している。しかしながら、駐車場使用料収納業務で着用する衣装については、行動の自由に支障があることが判明し、上手く着用することができず、効果が得られていない。</p> <p>○ガーデニングコンテスト及びフラワーフェスタの開催は「花のまちづくり」の機運醸成につながっている。</p>	<p>○SNSなどを通じて、既存の観光資源を活かした新たな魅力ある観光地として、効果的な情報発信を行っていききたい。また、駐車場使用料収納業務で着用する衣装については、代替案を検討するなどし、問題を解決していききたい。</p> <p>○今後も「花のまちづくり」の機運醸成につながる施策を展開し、「花のまち館山」のイメージ定着を図り、来訪者の増加を目指す。</p>	<p>○事務局案に賛成。</p> <p>○高齢者でも山頂に行けるシャトルカーに賛成。協力金だけでなく、企業の広告料をもらえないか検討してほしい。</p> <p>○城下町としての宣伝の一つとして、人力車を活用して周囲をガイドし、写真を撮るのはどうか。</p> <p>○里見八犬伝の象徴である城山公園は最も魅力ある観光施設にしなければならない。敷地やアクセスの問題もあるが、一つずつクリアして渚の駅との一体化を。</p> <p>○花のまちづくりでイメージの定着は大事だが、市全体の美化対策が重要。</p> <p>○シャトルカーの導入、駐車場料金収納の甲冑着用のアイデア、なかなか楽しくて良いと思う。</p> <p>●シャトルカーのデザインに違和感を覚えた。衣装には凝る必要はなく、自然で軽い感じで良いのでは。</p>
6	航路利用促進事業	<p>①《東京～館山航路 利用者増加施策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●航路を利用した交流人口の増加を図るため、客船等歓迎委員会への委託により、着地型旅行商品の造成・ファミトリップ、モニターツアー、館山航路のPR等を実施 ●臨時駐車場に係る土地借上料の支払い ●“渚の駅”たてやま駐車場の交通誘導等の警備業務委託 	みなと課	<p>【執行額】 ①8,830,728円 ②2,484,000円 (合計) 11,314,728円</p> <p>【補助対象額】 11,314,728円 (補助率：1/2)</p>	<p>○様々なメディアを通してPRを行った結果、東京⇒館山航路の乗下船の人数が287人（東海汽船速報値）となり、対前年比100.6%となった。</p> <p>○繁忙期における臨時駐車場の借上げ、交通誘導員の配置により、“渚の駅”来館者の利便性が図られた。</p>	<p>○毎年2月～3月にかけて東海汽船が運航する高速ジェット船の季節運航において、東京・館山間の利用者の増大を図り、海路を活用した交流人口の拡大と、渚の駅を核とした地域の活性化を図っていく。</p> <p>○ファミトリップ、モニターツアーを実施、また、館山おさかな大使である「さかなクン」を活用したPR事業を展開していく。</p>	<p>○事務局案に賛成。</p> <p>○通年の定期運航開設。</p> <p>○海中観光船の魅力アップし、低料金化し、増客を図る。</p> <p>○湾内クルーズ遊覧船の就航を行う。</p> <p>○費用対効果の分析が重要。</p> <p>●高速ジェット船は渋滞がなく、75分で東京竹芝まで行けるのは魅力的。季節運航から通年運航にする努力も必要ではないか。利用者増えるはず。</p> <p>●海路利用は伸び悩み感がある。急激な増加は見込めないが、他地域との差別化が必要。</p> <p>◆災害時の着岸対策はどうなっているか。</p>	
		<p>②《戦争遺跡活用事業（赤山地下壕跡）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年間3万人を超える入壕者の安全確保を図るための安全点検業務委託 	都市計画課	<p>【交付金充当額】 5,657,364円</p>	<p>○地下壕の安全点検等を行い危険性がないとの結果を確認でき、施設見学される来壕者の安全面が確保された。</p> <p>○非常口案内板や非常口を整備したことで、有事の際に速やかな避難行動ができるようになった。</p>	<p>○来壕者の安全を第一に、定期的な安全点検等の実施を行っていききたい。</p>	<p>○事務局案に賛成。</p> <p>○赤山地下壕の駐車場、トイレの確保を行う。</p> <p>●裏口からも避難できるようにした方が良い。</p> <p>◆地下壕の出入りの点検・確認はどのように行っているのか。</p>	

【館山市】平成29年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点とし、
 目的 『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	詳細事業名	事業概要	H29担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
					KPI (重要業績評価指標)	分析結果 (効果・課題)	今後の取組方針	事務局案(【分析結果】【今後の取組方針】)について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・賛成、反対 ・良かった点、課題、改善策など
7	恋人の聖地事業	①《PR費・ビジネス化専門人材招へい等》 ●NPO法人地域活性化支援センターの認定を受けた市内3カ所の「恋人の聖地」を題材に、市内外に対するPRを行う ●「恋人の聖地」を活用したビジネス展開につなげるため、外部より専門人材を招へいし、事業者との情報交換会を開催	企画課	【執行額】 ①915,790円 ②3,100,000円 (合計) 4,015,790円 【補助対象額】 4,015,790円 (補助率：1/2)		○平成30年1月にアロハガーデンたてやまが「恋人の聖地サテライト」に認定されたほか、市内旅行業者が市内の聖地スポットを巡る婚活ツアーを実施するなど、民間事業者による「恋人の聖地」の活用について広がりを見せてきている。	○観光を切り口とした少子化対策、既存の観光資源を有効活用した新たな魅力ある観光拠点づくり、効果的な情報発信等による取組を継続し、交流人口の増加を目指していく。 ○聖地活用イベントの実施により、取組の周知・PRを図るとともに、民間事業者のビジネス展開を推進するため、聖地を活用した営業活動や商品開発等に対する補助事業を予定している。	○事務局案に賛成。 ○ムードある環境整備、2人用ベンチの設置、花壇づくり。 ○市の魅力を一層PRしており、良いと思う。 ○若年層をターゲットにした事業は館山市の明るいイメージにつながる。この取組により、交流人口の増加から関係人口の増加へと進めるべき。 ○立教大学広告研究会と連携したのは良いこと。 ●何か他との差別化や特異性が欲しい。
		②《東京湾フェリー活用事業》 ●「恋人の聖地」を活用した交流人口の増加を目指すため、宿泊・滞在型観光推進協議会や株式会社東京湾フェリーと連携し、婚活クルーズツアーを実施	商工観光課	【交付金充当額】 2,007,895円	○婚活クルーズツアーは、男女ともにキャンセル待ちが出るほどの人気だった。また、若者の思い出の場、出会いの場作りに有効であるとともに、交流人口の拡大に繋がる事業であることが確認できた。	○南房総地域の新たな魅力を創出していくことで、更なる知名度の向上及び交流人口の拡大を目指していく。 ○「恋人の聖地」のブランド力や地域資源を活用し、前年度とは行程等内容を変え、実施する。	○事務局案に賛成。	
8	海辺の賑わい創出事業	①《海岸活性化プロジェクト》 ●館山市の海岸の利活用による観光振興を目的に「北条海岸BEACHマーケット」を開催 ●実施主体の自立的運営を図るため、「館山市海岸活性化プロジェクト推進協議会」への補助により実施	商工観光課/ みなど課	【執行額】 ①1,800,000円 ②746,944円 ③150,000円 (合計) 2,696,944円 【補助対象額】 2,696,944円 (補助率：1/2)	○『北条海岸BEACHマーケット』は、出店者も50を超え、より集客力が強まり、最高で3,300人の来場者があり、北条海岸の魅力をより引き立たせることができた。 ○『海まちフェスタ』では、平成29年度に初めて参加者数1万人を突破し、館山市の進める海辺のまちづくりに貢献できた。	○『北条海岸BEACHマーケット』は、「美と健康」という観点から追求する「観光」イベントであり、地域内外からの来訪者の増加を目指すとともに、都心部へのアピールをさらに強化し、地域内の団体との連携を強めていく。 ○多くの人に海や船と親しむ機会を提供することにより、館山湾を活用した海辺のまちづくりを推進する必要がある。	○事務局案に賛成。 ○観光大使や芸能人を招待。 ○館山市ならではの取組として評価できる。他地域や情報媒体への積極的な発信により、更に効果を上げるべき。 ●①は忘れたころにポツンと行うのではダメだと思う。定期的開催して定着させ、価値のある楽しめるマーケットが良い。 ●館山夕日桟橋及び物揚場の有効活用を図るため、桟橋の設置方法に係る研究調査の実施を検討してほしい。	
		③《オーシャンフェスタ》 ●北条海岸を会場に、ビーチフラッグスやスタンダードアップパドル(SUP)等、子どもから大人まで気軽に楽しめる海のスポーツイベント「オーシャンフェスタ館山」を同実行委員会への補助により実施	スポーツ課	【交付金充当額】 1,348,472円	○子供から大人まで海を楽しむイベントとして、平成29年度で11回目となり、参加人数が1,000人前後になる大きなイベントとして確立されている。 ○「海における安全教育」や「協賛企業による出店・販売」を行い、選手だけではなく参加者全員が楽しめるように企画構成されている。	○引き続き、生涯スポーツの推進による健康の保持増進や体力向上、スポーツ観光による交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげていきたい。	○どれも地元の人たちにも楽しめる、また地元の人たちの協力もあって、楽しいイベントになってきていると思う。長く市民に愛されるイベントに成長してほしい。	

【館山市】平成29年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点とし、
目的 『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	詳細事業名	事業概要	H29担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
					KPI (重要業績評価指標)	分析結果 (効果・課題)	今後の取組方針	事務局案(【分析結果】【今後の取組方針】)について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・賛成、反対 ・良かった点、課題、改善策など
9	シティプロモーション強化事業	《民間人材の招へい》 ●内閣府による地方創生人材支援制度を活用し、主にシティプロモーションによる館山の魅力向上・魅力発信のアドバイザーとして、地方創生施策の推進に係る民間人材を参与（非常勤特別職）として招へい	企画課	【執行額】 750,000円 【補助対象額】 750,000円 【交付金充当額】 375,000円		○シティプロモーションに関する各取組において、コンセプト・ターゲットのイメージを明確にした。 ○SNS等を活用した効果的な情報発信により、館山らしさや地域ブランディング、対外的な認知度の向上に努めた。	○矢尾参与を引き続き委嘱し、シティプロモーション分野の推進・強化に努め、市の魅力発信、地域力・ブランド力の向上について戦略的な展開を図っていく。	○事務局案に賛成。 ○長期的な展望をもってアドバイスをいただき、市政に役立ててほしい。 ●市内の高校に観光学科を作り、幅広い観光知識を修得してもらい、できれば地元館山に就職してもらう。 ●情報発信の効果は既に認められているが、その根本となる市内の資源の質的向上や生産力の強化が伴わなくては成果は得られない。
10	海を活かした雇用創出事業	《企業誘致情報強化》 ●民間企業のコネクションやノウハウの活用を図り、後年度の企業誘致活動に繋げるため、企業誘致のための支援業務を専門事業者への委託により実施 《企業・起業支援》 ●市内において起業する個人や法人に対して、事業所等の開設に要する経費等の一部を補助し、産業の振興を図った	商工観光課 (雇用定住)	【執行額】 5,209,800円 【補助対象額】 5,209,800円 【交付金充当額】 2,604,900円	《KPI》 企業誘致件数 【基準値】(H27) 0件 【目標値】 2件(+2件) 【実績値】 0件 【達成率】(実績/目標) 0.0% 《事業の評価》 ある程度有効であった	○委託業務の結果として、誘致ターゲットとすべき企業のイメージ、職種、進出ニーズが高い企業について、要件を絞り込み有効な企業誘致の戦略を練ることができた。	○館山市の特性を活かした多様な「しごと」の創出と海の魅力を活かしたビジネスの企業・起業支援に加え、今回の委託事業での成果を最大化するため、人口減対策、移住定住促進に向けては継続的に企業誘致を実施していく。	○事務局案に賛成。 ○企業誘致PRについて、企業立地奨励金(市・県)の活用を図るため、金融機関や行政書士会等に制度のPRを図ってほしい。 ○黒字廃業が増加傾向にあるので、起業のみならず事業承継にも力を入れた方がよい。 ●企業誘致はもっと費用をかけてでもすべきだと思う。創業・起業支援の補助ももう少し厚くできるとよい。 ◆具体的な実例があれば示してほしい。
11	海の魅力による移住定住施策	《移住支援》 ●移住・定住者の増加による地域の活性化を図るため、都市部からの移住希望者に対する相談業務をNPO法人おせっ会への委託により実施 ●移住・定住者の増加による地域の活性化を図るため、「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」等へ出席 《移住施策イベント》 ●移住相談業務を行うNPO法人おせっ会への委託により、体験ツアーの実施や空き家バンク制度の周知を図った 《地元企業採用力向上対策》 ●市内事業者の人材採用力向上のため、市内企業の経営者・人事担当者を対象に、採用市場の現状や採用成功の秘訣を学ぶためのセミナーを計2回開催	商工観光課 (雇用定住)	【執行額】 5,020,880円 【補助対象額】 5,020,880円 【交付金充当額】 2,509,040円	《KPI》 移住者数 【基準値】(H27) 58人 【目標値】 60人 【実績値】 69人 【達成率】(実績/目標) 115.0% 《事業の評価》 非常に有効であった	○移住相談業務を実施し、243件の相談を受け、27世帯、69名(おせっ会把握数)の移住が実現した。 ○移住者交流会を実施することで、交流会参加者が後日再訪問する等、移住のハードルを下げる効果があった。既移住者にとっても定期的に交流会に参加し関わりを持つことで“住んでからを考えるまち”として満足度アップに貢献した。 ○企業向けセミナーを実施し、地域企業の魅力・発信力を向上させ、求職者が求める企業情報を発信できる状況を作り出したことで、職業選択の幅が広がる取り組みとなった。	○引き続き、移住相談業務を実施するとともに、移住ツアー、イベント等の実施、情報発信を継続していく。	○事務局案に賛成。 ○移住者が増えることは、この地域で会社をやっている者の一人としては、大変ありがたい。これからもこのような施策をお願いする。 ○「移住」にこだわらずとも、広い視点で、週末に利用できる貸家の整備、長期滞在型のリゾート施設の開発も、検討してみたい。 ○定住後のケアや満足度アンケートなど、定住後の現状把握をもっとした方がよい。 ●移住定住施策を海の魅力を切り口に進めるのは無理がある。海の魅力を足がかりに、交流人口・関係人口の増加が移住定住につながるというストーリーを施策として明らかにすべき。 ●南房総は、気候もよく風光明媚で「のんびりしたくなる」場所なので、都心からの二拠点居住地として戦略を練るべき。